

大阪市廃棄物減量等推進員研修会

日時：令和6年9月6日(金) 13:30～15:30

場所：大阪ガス「ハグミュージアム」

参加者：西区・港区・大正区廃棄物減量等推進員 65名



内容：

- ・大阪市廃棄物減量等推進員(ごみゼロリーダー)の役割について
- ・ごみ減量の必要性について
- ・災害発生時のごみの排出協力について
- ・食品ロスの取組について

大阪市廃棄物減量等推進員(ごみゼロリーダー)とは

ごみ減量と3R

リデュース：発生抑制
リユース：再使用
リサイクル：再生利用

を推進するためには、市民の皆さまの自主的な取組を促進することが必要です。
このため、推進員の皆さまは、**ごみの減量と3R**を推進する地域の**ボランティアリーダー**として、また、大阪市と地域の住民との**パイプ役**として、活動をしていただくことになります。

なぜ、ごみ減量が必要なのか

地球温暖化をご存知ですか？

近年、増えてきている自然災害は地球温暖化が原因と言われています。

・・・その仕組みを考えてみましょう。

・今後予想される南海トラフ巨大地震などの大規模な災害が発生した後は、倒壊した家屋やコンクリートくずなど、大量の災害がれきの発生が予想されます。

災害がれきについては3週間をめどに収集を開始しますが大阪市の収集開始日等を案内するまで、屋内や敷地内に保管しておいてください。

各ご家庭や避難所から出される生活ごみ(普通ごみ、資源ごみ、容器包装プラスチック、古紙・衣類)については、被災後3日以内の収集再開をめざします。

【道路上などに出さないで！】

